

マニライフ・米国投資適格債券戦略ファンド

Aコース（為替ヘッジあり・毎月）

Bコース（為替ヘッジなし・毎月）

Cコース（為替ヘッジあり・年2回）

Dコース（為替ヘッジなし・年2回）

追加型投信／海外／債券

Aコース（為替ヘッジあり・毎月）／

Bコース（為替ヘッジなし・毎月）

第67期（決算日 2023年6月15日）

第68期（決算日 2023年7月18日）

第69期（決算日 2023年8月15日）

第70期（決算日 2023年9月15日）

第71期（決算日 2023年10月16日）

第72期（決算日 2023年11月15日）

作成対象期間（2023年5月16日～2023年11月15日）

Cコース（為替ヘッジあり・年2回）／

Dコース（為替ヘッジなし・年2回）

第12期（決算日 2023年11月15日）

作成対象期間（2023年5月16日～2023年11月15日）

受益者の みなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に米ドル建て債券に分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに、各期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

	Aコース (為替ヘッジあり・毎月)	Bコース (為替ヘッジなし・毎月)	Cコース (為替ヘッジあり・年2回)	Dコース (為替ヘッジなし・年2回)
	第72期末 (2023年11月15日)		第12期末 (2023年11月15日)	
基準価額	7,381円	10,613円	7,986円	12,259円
純資産総額	1,133百万円	916百万円	665百万円	342百万円
	第67期～第72期 (2023年5月16日～2023年11月15日)		第12期末 (2023年5月16日～2023年11月15日)	
騰落率	△6.5%		△6.4%	
分配金合計	60円		0円	

(注) 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により交付する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、弊社ホームページに掲載しています。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

■ 運用報告書（全体版）の閲覧方法

①下記ホームページアドレスにアクセス → ②ファンド情報 → ③該当ファンド名を選択 → ④目録見書・レポート等を選択
※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

マニライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館



www.manulifeim.co.jp/



■ お問い合わせ先

サポートダイヤル：03-6267-1901

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

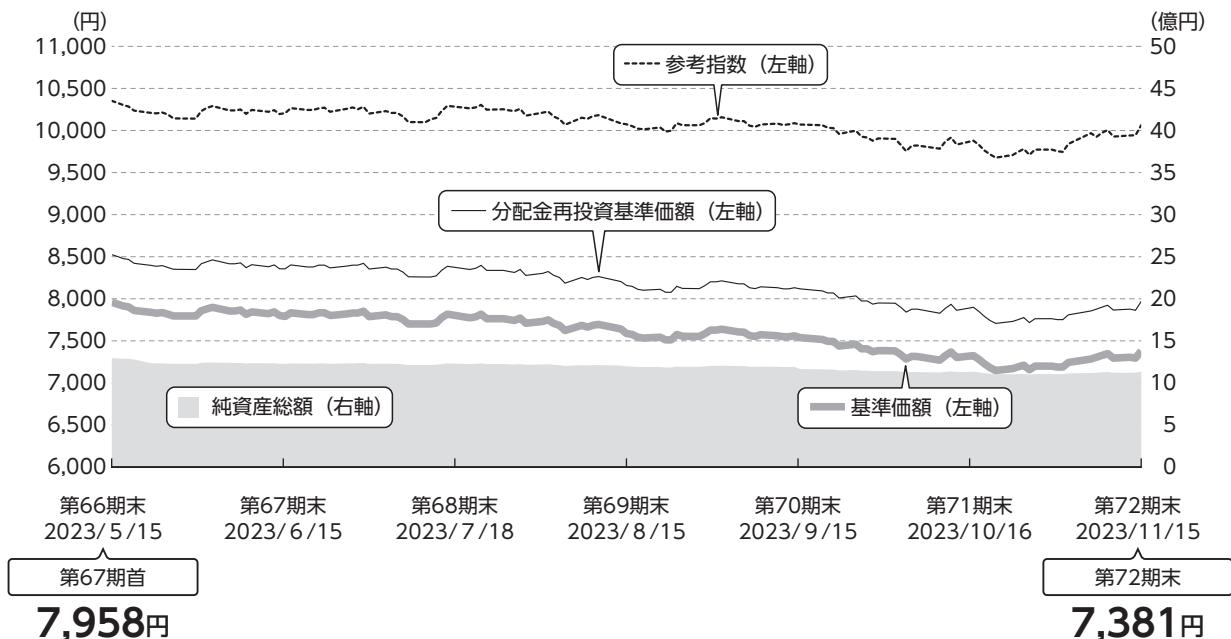


見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移 (2023年5月16日から2023年11月15日まで)

■ Aコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(米ドルベース)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

既払分配金	60円
騰落率 (分配金再投資ベース)	△6.5%

基準価額の主な変動要因

上昇要因

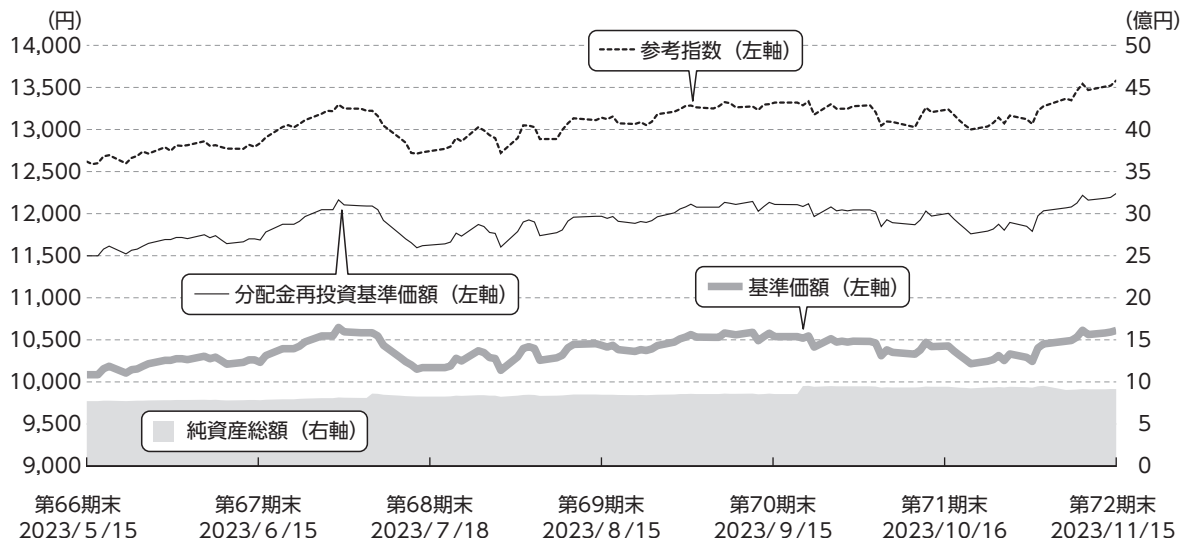
- ・ 安定的な利息収入がプラスに寄与しました。

下落要因

- ・ 米国長期金利の上昇がマイナスに寄与しました。
- ・ 為替ヘッジ取引にかかるコスト（ヘッジコスト）がマイナスに寄与しました。

基準価額等の推移 (2023年5月16日から2023年11月15日まで)

■ Bコース



第67期首

10,086円

第72期末

10,613円

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものと、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

既払分配金	120円
騰落率 (分配金再投資ベース)	6.4%

基準価額の主な変動要因

上昇要因

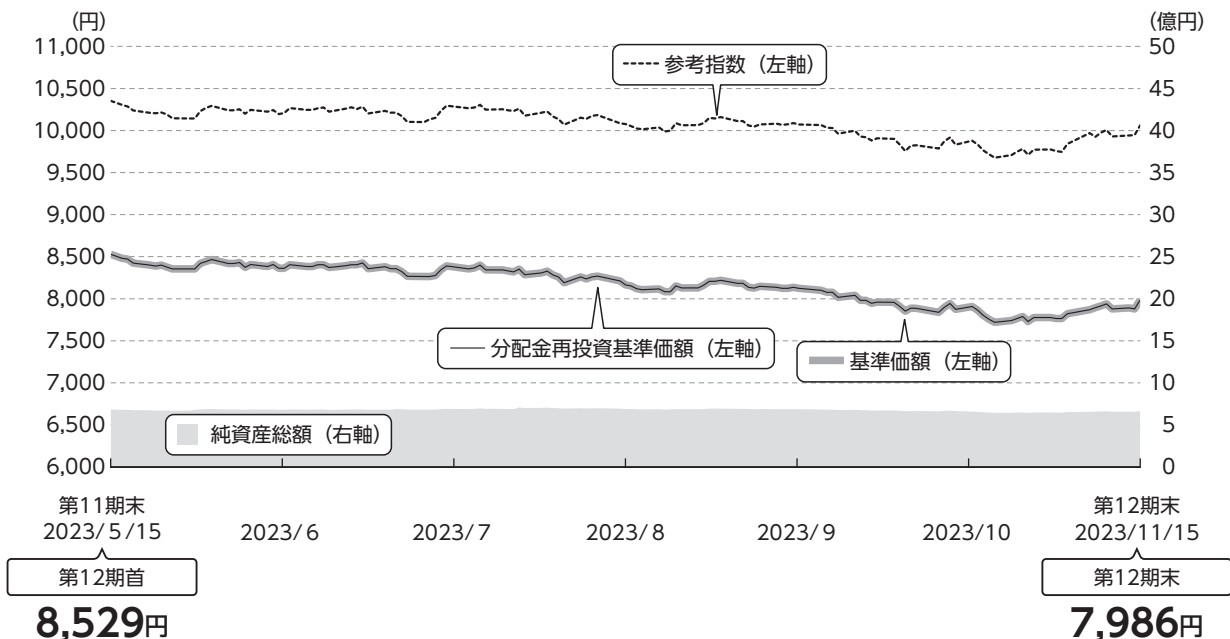
- ・ 安定的な利息収入がプラスに寄与しました。
- ・ 円が米ドルに対し下落したことがプラスに寄与しました。

下落要因

- ・ 米国長期金利の上昇がマイナスに寄与しました。

基準価額等の推移 (2023年5月16日から2023年11月15日まで)

■ Cコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものと、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(米ドルベース)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	△6.4%

基準価額の主な変動要因

上昇要因

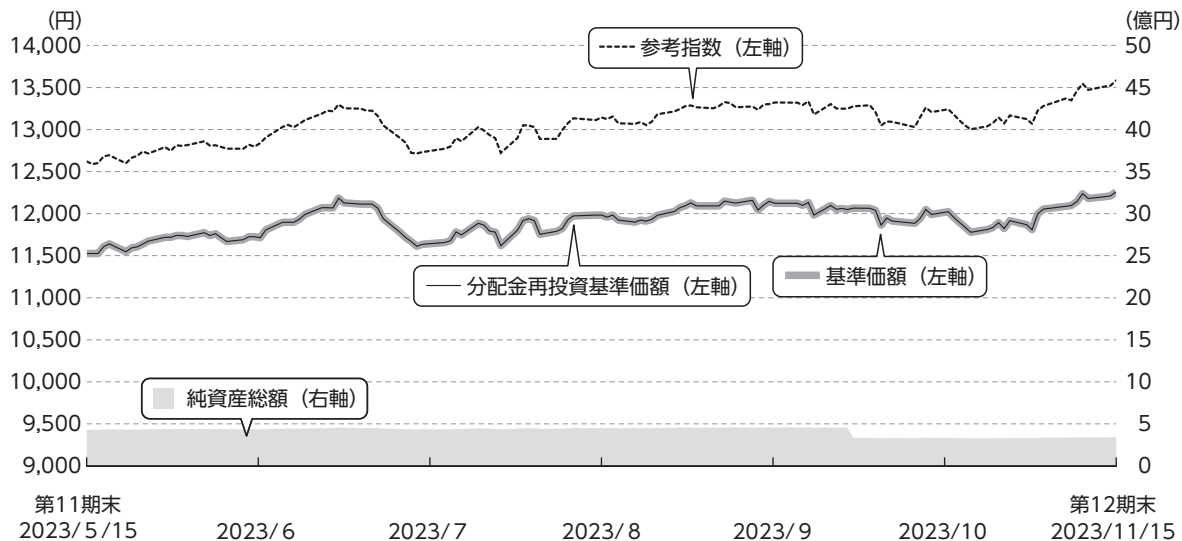
- ・ 安定的な利息収入がプラスに寄与しました。

下落要因

- ・ 米国長期金利の上昇がマイナスに寄与しました。
- ・ 為替ヘッジ取引にかかるコスト（ヘッジコスト）がマイナスに寄与しました。

基準価額等の推移 (2023年5月16日から2023年11月15日まで)

■ Dコース



第12期首

11,526円

第12期末

12,259円

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものと、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	6.4%

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 安定的な利息収入がプラスに寄与しました。
- ・ 円が米ドルに対し下落したことがプラスに寄与しました。

下落要因

- ・ 米国長期金利の上昇がマイナスに寄与しました。

■ Aコース

1万口当たりの費用明細

項目	第67期～第72期 (2023年5月16日～2023年11月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	7,596円	—	作成期間の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) 信託報酬	33円	0.429%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(11)	(0.138)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	5	0.069	(e) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.033)	印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	38	0.498	

* 作成期間の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

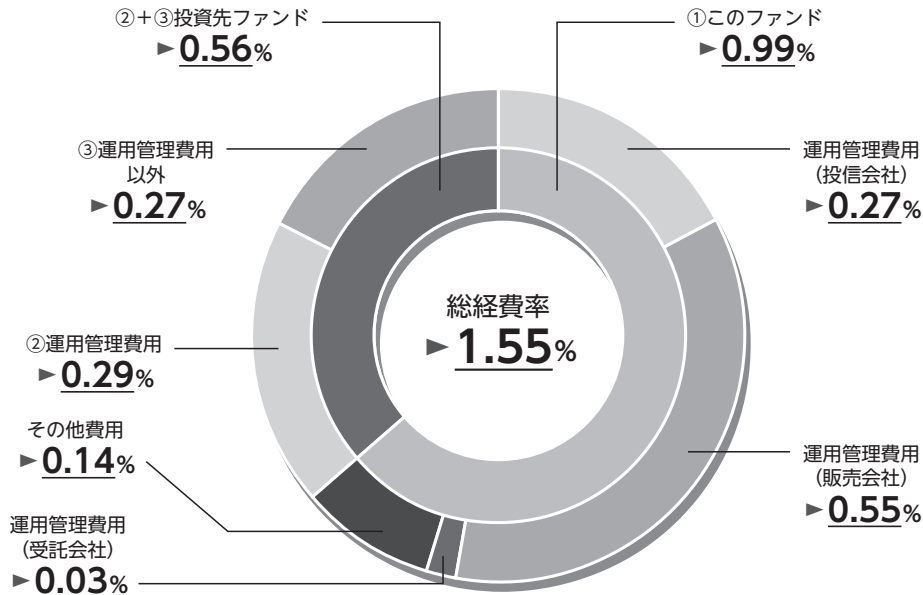
* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	1.55%
①このファンドの費用の比率	0.99%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27%

- * ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- * 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- * 各比率は、年率換算した値です。
- * 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- * ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- * ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- * 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.55%**です。

■ Bコース

1万口当たりの費用明細

項目	第67期～第72期 (2023年5月16日～2023年11月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	10,410円	—	作成期間の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) 信託報酬	45円	0.429%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(14)	(0.138)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(29)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	5	0.052	(e) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(4)	(0.036)	印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	50	0.481	

* 作成期間の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

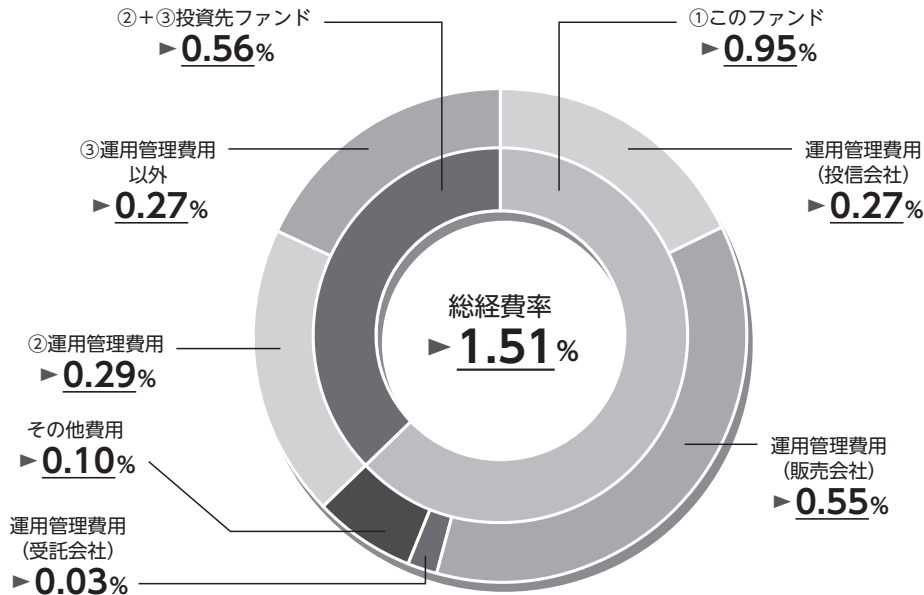
* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	1.51%
①このファンドの費用の比率	0.95%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27%

- * ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- * 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- * 各比率は、年率換算した値です。
- * 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- * ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- * ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- * 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.51%**です。

■ Cコース

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年5月16日～2023年11月15日)		
	金額	比率	
平均基準価額	8,169円	—	期中の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) 信託報酬	35円	0.429%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(11)	(0.138)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(23)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	5	0.061	(e) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.041)	印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	40	0.490	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

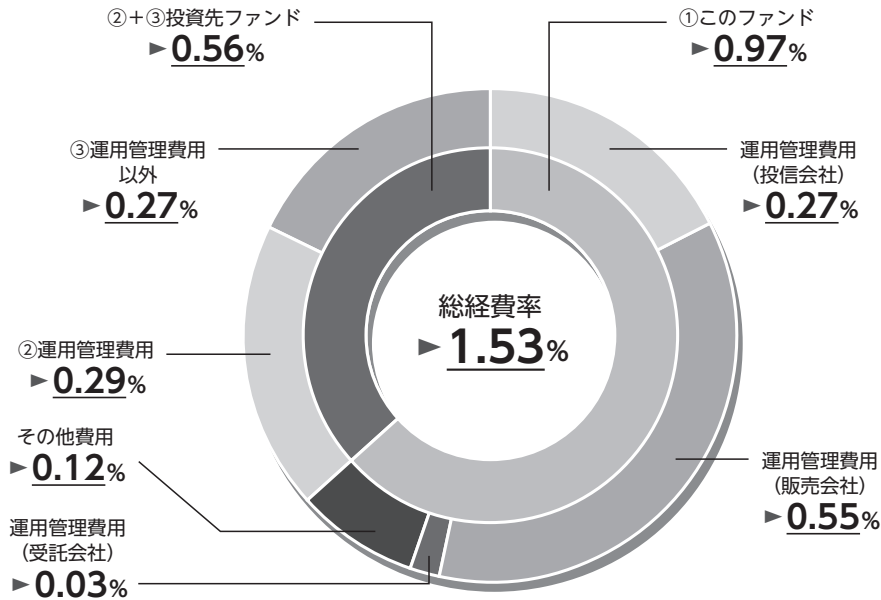
* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報) 総経費率



総経費率 (①+②+③)	1.53%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27%

- * ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- * 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- * 各比率は、年率換算した値です。
- * 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- * ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- * ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- * 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。

■ Dコース

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年5月16日～2023年11月15日)		
	金額	比率	
平均基準価額	11,945円	—	期中の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) 信託報酬	51円	0.429%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(17)	(0.138)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(33)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	9	0.077	(e) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(4)	(0.030)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(5)	(0.045)	印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	60	0.506	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

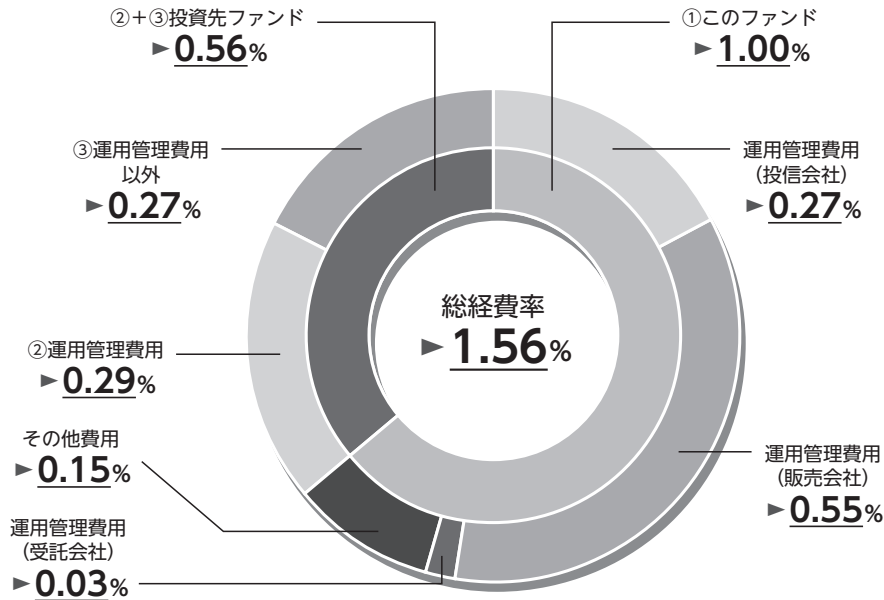
* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報) 総経費率



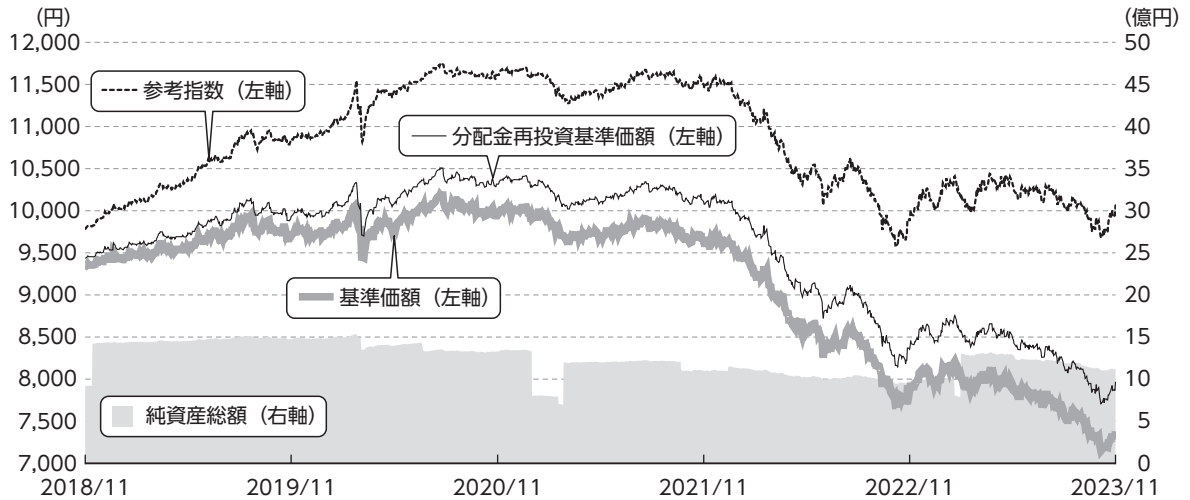
総経費率 (①+②+③)	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.00%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27%

- * ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- * 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- * 各比率は、年率換算した値です。
- * 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- * ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- * ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- * 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.56%**です。

最近5年間の基準価額等の推移 (2018年11月15日から2023年11月15日まで)

Aコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(米ドルベース)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日		2018/11/15 (期初)	2019/11/15	2020/11/16	2021/11/15	2022/11/15	2023/11/15
基準価額	(円)	9,338	9,705	9,959	9,642	7,859	7,381
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	5.2	3.9	△2.0	△17.3	△4.6
参考指数騰落率	(%)	—	10.8	7.0	△0.9	△14.1	1.9
純資産総額	(億円)	9.2	14.8	13.3	11.0	9.7	11.3

※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。従って、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

ブルームバーグ米国総合債券インデックスは、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。

最近5年間の基準価額等の推移 (2018年11月15日から2023年11月15日まで)

■ Bコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日		2018/11/15 (期初)	2019/11/15	2020/11/16	2021/11/15	2022/11/15	2023/11/15
基準価額	(円)	9,538	9,641	9,617	10,042	10,079	10,613
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	3.7	2.2	7.0	2.8	7.8
参考指数騰落率	(%)	—	5.9	3.1	7.9	5.8	9.3
純資産総額	(億円)	6.4	5.9	5.6	9.9	9.8	9.2

※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。従って、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

ブルームバーグ米国総合債券インデックスは、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。

最近5年間の基準価額等の推移 (2018年11月15日から2023年11月15日まで)

■ Cコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(米ドルベース)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日		2018/11/15 (期初)	2019/11/15	2020/11/16	2021/11/15	2022/11/15	2023/11/15
基準価額	(円)	9,450	9,937	10,322	10,115	8,360	7,986
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	5.2	3.9	△2.0	△17.4	△4.5
参考指数騰落率	(%)	—	10.8	7.0	△0.9	△14.1	1.9
純資産総額	(億円)	10.7	10.5	11.2	12.2	9.6	6.7

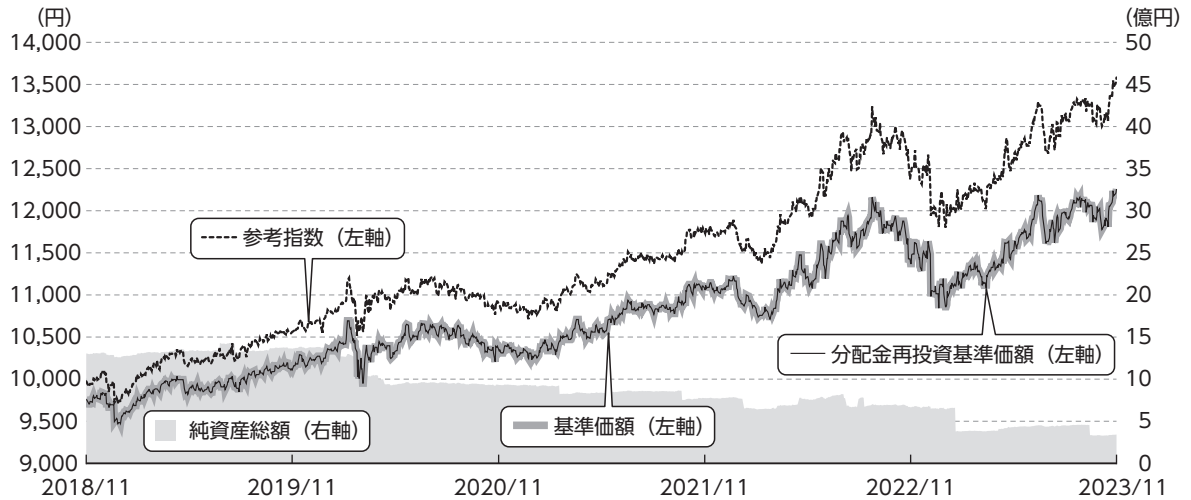
※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。従って、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

ブルームバーグ米国総合債券インデックスは、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。

最近5年間の基準価額等の推移 (2018年11月15日から2023年11月15日まで)

Dコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資(複利運用)したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス(円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M)です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日		2018/11/15 (期初)	2019/11/15	2020/11/16	2021/11/15	2022/11/15	2023/11/15
基準価額	(円)	9,758	10,110	10,335	11,081	11,372	12,259
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	3.6	2.2	7.2	2.6	7.8
参考指数騰落率	(%)	—	5.9	3.1	7.9	5.8	9.3
純資産総額	(億円)	13.0	13.6	9.3	7.7	6.7	3.4

※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。従って、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

ブルームバーグ米国総合債券インデックスは、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。

投資環境

債券市況

■ 全コース共通

米国10年国債利回りは、期初に3.4%台で始まった後、堅調な米国景気や根強いインフレ圧力を背景に金融引き締め長期化観測が高まったことや米国の財政運営を巡る不透明感などを背景に上昇基調が継続し、4.4%台で期を終えました。米国投資適格社債は、米国長期金利の上昇などを背景に下落しました（トータルリターンベース）。

為替市況

■ Bコース／Dコース

外国為替市場では、円は米ドルに対して下落（円安）しました。期初1米ドル136円台で始まった後、米国長期金利の上昇に伴う日米金利差の拡大などが米ドル買い要因となり、当期末には150円台となりました。

日本債券市況

■ 全コース共通

当期間の10年国債利回りは、期初0.405%から期末0.790%となり利回りは上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオ

Aコース／Cコース

主要投資対象とするケイマン籍外国投資信託「マニュアル・インベストメンツ・トラストーUS・コア・フィクスト・インカム・ファンドクラスA(円建て為替ヘッジありクラス)」(以下「MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA(円建て為替ヘッジありクラス)」といいます。)の組入比率は高位に維持しました。

また、円建て為替ヘッジありクラスに投資を行うことで、円に対する米ドルの為替ヘッジ取引を活用し、為替リスクの低減を図っています。

Bコース／Dコース

主要投資対象とするケイマン籍外国投資信託「マニュアル・インベストメンツ・トラストーUS・コア・フィクスト・インカム・ファンドクラスA(円建て為替ヘッジなしクラス)」(以下「MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA(円建て為替ヘッジなしクラス)」といいます。)の組入比率は高位に維持しました。

MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス/円建て為替ヘッジなしクラス)

当該投資信託証券を通じて主に米ドル建ての債券等に分散投資を行うことにより、トータル・リターンの最大化をめざして運用を行いました。

原則として、円建て為替ヘッジありクラスは、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。円建て為替ヘッジなしクラスは、対円での為替ヘッジを行いません。

マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド

NOMURA-BPI総合に採用されている公社債に投資することにより、同インデックスの動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

Aコース

組入ファンド・資産	比率
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス)	96.3%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	3.7%
合計	100.0%

Bコース

組入ファンド・資産	比率
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジなしクラス)	96.4%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	3.5%
合計	100.0%

Cコース

組入ファンド・資産	比率
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス)	97.7%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	2.2%
合計	100.0%

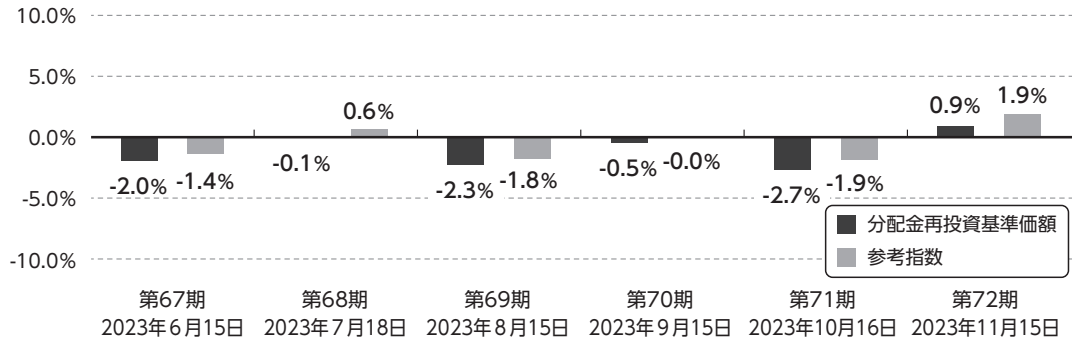
Dコース

組入ファンド・資産	比率
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジなしクラス)	96.3%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	3.7%
合計	100.0%

当該投資信託のベンチマークとの差異

■ Aコース

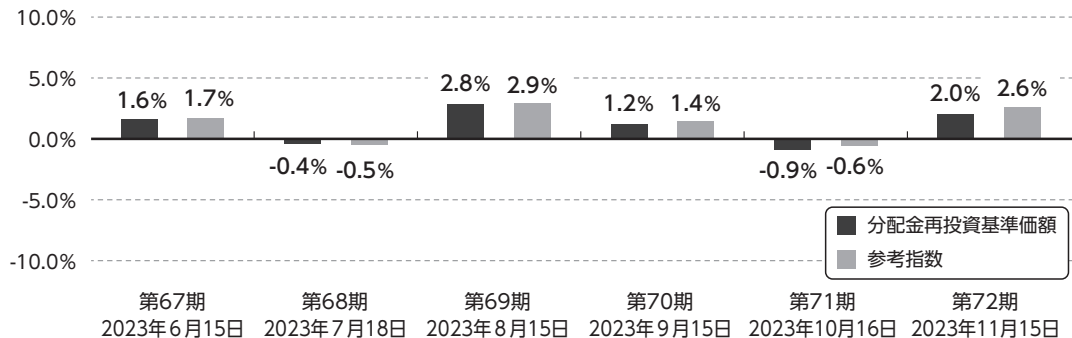
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス（米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

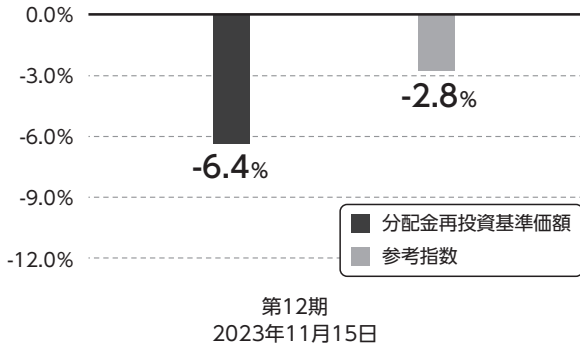
■ Bコース

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース／三菱UFJ銀行TTM）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

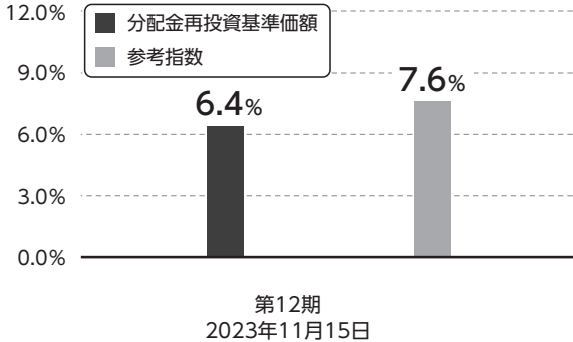
■ Cコース



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。左記のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス（米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

■ Dコース



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。左記のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ米国総合債券インデックス（円換算ベース／三菱UFJ銀行TTM）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

収益分配金について

■ Aコース

当作成期間の収益分配は、分配方針に基づき第67期～第72期は10円、合計60円（1万口当たり、税引前）とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず運用の基本方針に基づき運用を行います。

[分配原資の内訳]

(1万口当たり、税引前)

		第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
		自 2023年5月16日 至 2023年6月15日	自 2023年6月16日 至 2023年7月18日	自 2023年7月19日 至 2023年8月15日	自 2023年8月16日 至 2023年9月15日	自 2023年9月16日 至 2023年10月16日	自 2023年10月17日 至 2023年11月15日
当期分配金	(円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	(%)	0.128	0.128	0.132	0.132	0.136	0.135
当期の収益	(円)	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	(円)	10	10	10	10	10	10
翌期繰越分配対象額	(円)	1,049	1,064	1,080	1,096	1,113	1,133

■ Bコース

当作成期間の収益分配は、分配方針に基づき第67期～第72期は20円、合計120円（1万口当たり、税引前）とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず運用の基本方針に基づき運用を行います。

[分配原資の内訳]

(1万口当たり、税引前)

		第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
		自 2023年5月16日 至 2023年6月15日	自 2023年6月16日 至 2023年7月18日	自 2023年7月19日 至 2023年8月15日	自 2023年8月16日 至 2023年9月15日	自 2023年9月16日 至 2023年10月16日	自 2023年10月17日 至 2023年11月15日
当期分配金	(円)	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	(%)	0.195	0.196	0.191	0.189	0.191	0.188
当期の収益	(円)	19	—	—	—	—	—
当期の収益以外	(円)	0	20	20	20	20	20
翌期繰越分配対象額	(円)	1,345	1,347	1,356	1,365	1,367	1,376

(注1) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注3) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

■ Cコース

第12期の収益分配につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案した結果、分配金のお支払いは見送りとさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず運用の基本方針に基づき運用を行います。

[分配原資の内訳] (1万口当たり、税引前)

		第12期
		自 2023年 5月16日 至 2023年11月15日
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,734

■ Dコース

第12期の収益分配につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案した結果、分配金のお支払いは見送りとさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず運用の基本方針に基づき運用を行います。

[分配原資の内訳] (1万口当たり、税引前)

		第12期
		自 2023年 5月16日 至 2023年11月15日
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,528

(注1) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注3) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

今後の運用方針

Aコース／Cコース

「MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス)」への投資を通じて主に米ドル建て債券に分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

また、円建て為替ヘッジありクラスに投資を行うことで、円に対する米ドルの為替ヘッジ取引を活用し、為替リスクの低減を図る方針です。

Bコース／Dコース

「MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジなしクラス)」への投資を通じて主に米ドル建て債券に分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス/円建て為替ヘッジなしクラス)

米国の経済指標は総じて堅調なもの、先行的な経済指標では経済成長が鈍化する兆しも示唆しており、過去数ヶ月間にわたる米国長期金利の大幅な上昇は今後の経済成長の足かせとなる可能性があります。加えて、中東情勢や米国内の政治情勢なども、債券市場のボラティリティ(価格変動性)を高めるきっかけとなり得ると考えます。このような環境下、当ファンドで

は保守的なポートフォリオを維持する一方で、米国金融政策の次の局面に備え、利回り曲線の正常化(逆イールドから順イールドへの移行)局面でリターン獲得が期待できる中期債に注目しています。当ファンドでは引き続き米国国債、投資適格社債、資産担保証券等への配分を機動的に行いながら、着実なインカムの獲得を通じて中長期的に安定した投資成果をめざします。

マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド

NOMURA-BPI総合に採用されている公社債に投資することにより、同インデックスの動きに連動する投資成果をめざす方針です。

お知らせ

約款変更

該当事項はありません。

運用体制の変更

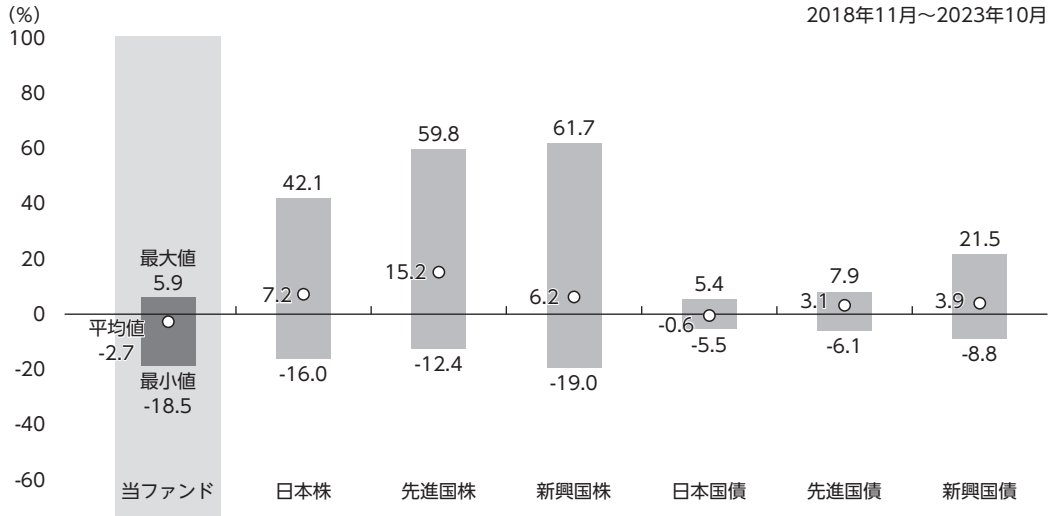
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

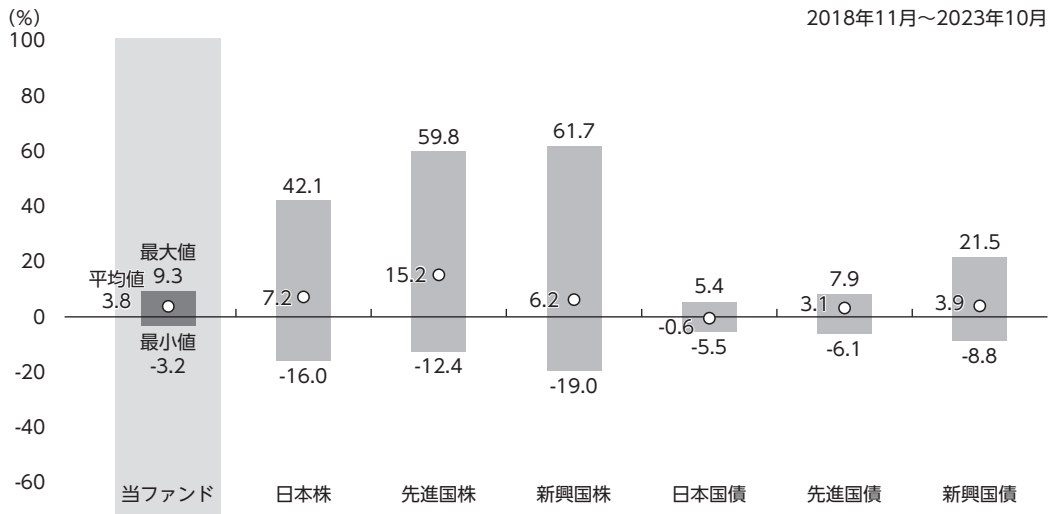
商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2017年11月30日から無期限です。
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に米ドル建て債券に分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主な投資対象	投資信託証券(外国籍投資信託証券および国内投資信託証券(親投資信託を含みます。))を含みます。)を主要な投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託「マニユライフ・インベストメンツ・トラストーUS・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス/円建て為替ヘッジなしクラス)」の受益証券 ・国内籍親投資信託「マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド」の受益証券
運用方法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みません)等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

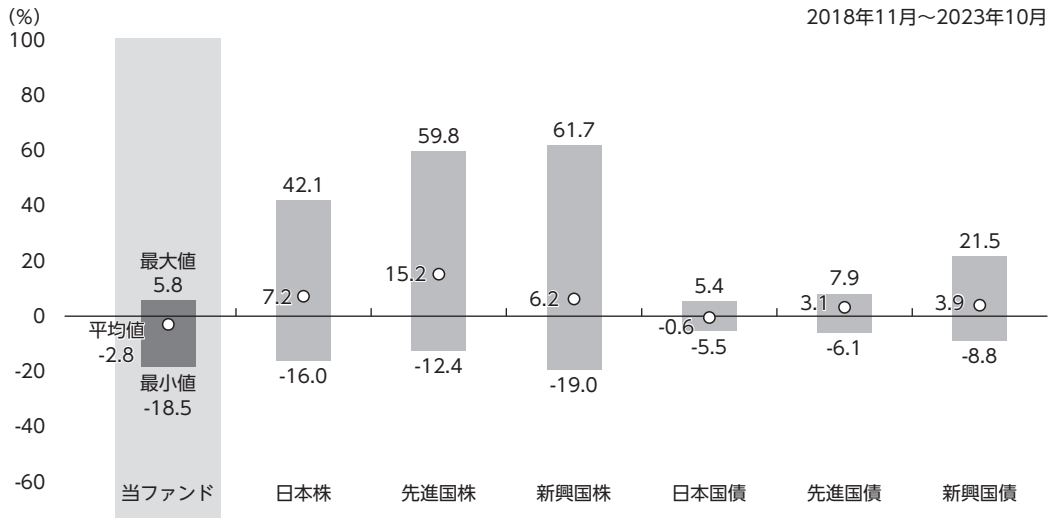
■ Aコース



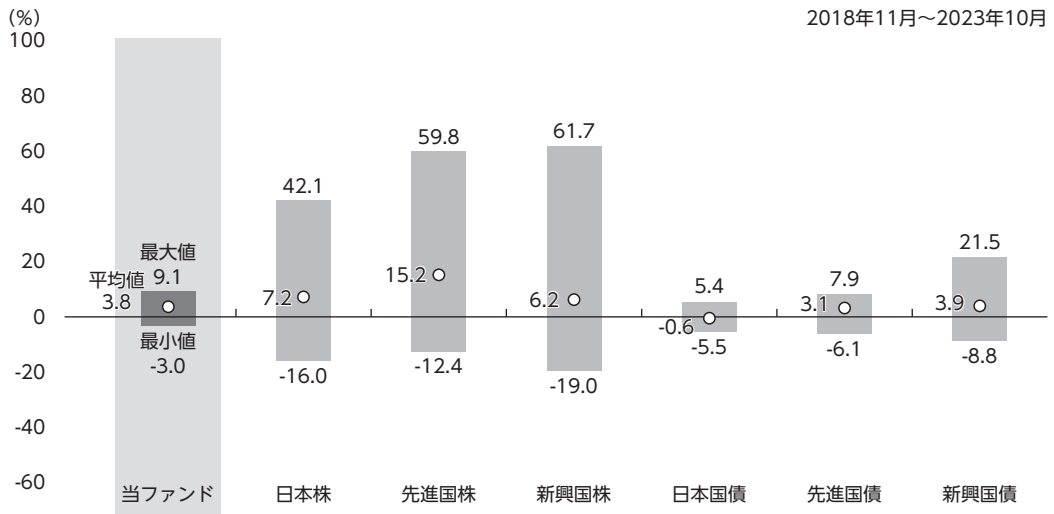
■ Bコース



■ Cコース



■ Dコース



※グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※前記は、2018年11月から2023年10月の5年間(当ファンドは2018年11月から2023年10月)の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※前記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円換算しております。

※詳細は後掲の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

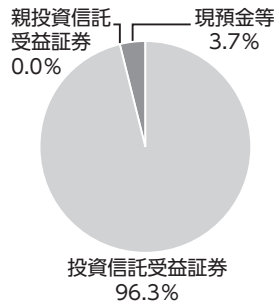
当該ファンドの組入資産の内容

■ Aコース

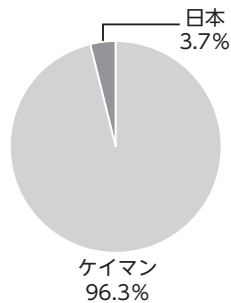
組入(上位)ファンド(2銘柄)

銘柄名	第72期末
	2023年11月15日
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス)	96.3%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	3.7%

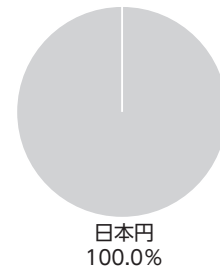
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 計理処理の仕組み上、「現預金等」の数値がマイナスになることがあります。

(注3) 数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

純資産等

項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2023年6月15日	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日	2023年11月15日
純資産総額	1,226,578,652円	1,225,328,921円	1,196,158,138円	1,164,993,721円	1,132,242,234円	1,133,785,126円
受益権総口数	1,574,192,790口	1,575,930,438口	1,576,321,557口	1,545,181,199口	1,545,625,354口	1,536,016,242口
1万口当たり基準価額	7,792円	7,775円	7,588円	7,540円	7,325円	7,381円

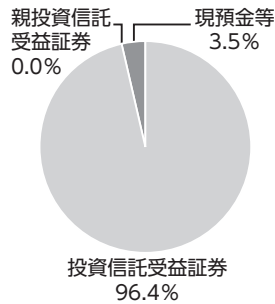
※当作成期間(第67期～第72期)中における追加設定元本額は4,142,027円、同解約元本額は94,760,875円です。

■ Bコース

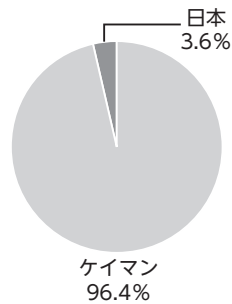
組入(上位)ファンド(2銘柄)

銘柄名	第72期末
	2023年11月15日
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジなしクラス)	96.4%
マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	3.5%

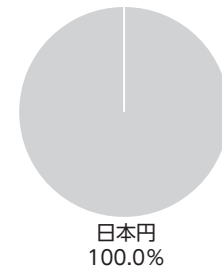
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 計理処理の仕組み上、「現預金等」の数値がマイナスになることがあります。

(注3) 数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

純資産等

項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2023年6月15日	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日	2023年11月15日
純資産総額	782,056,366円	826,835,370円	848,454,777円	856,946,575円	942,722,847円	916,707,561円
受益権総口数	764,353,723口	813,010,951口	813,040,406口	813,114,220口	903,919,888口	863,752,849口
1万口当たり基準価額	10,232円	10,170円	10,436円	10,539円	10,429円	10,613円

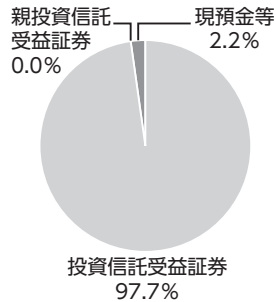
※当作成期間(第67期～第72期)中における追加設定元本額は150,800,943円、同解約元本額は51,424,697円です。

■ Cコース

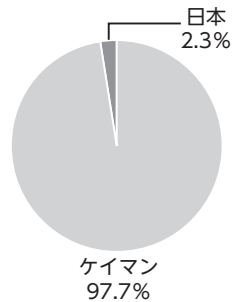
組入(上位)ファンド(2銘柄)

銘柄名	第12期末
	2023年11月15日
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジありクラス)	97.7%
マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	2.2%

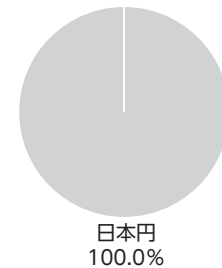
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 計理処理の仕組み上、「現預金等」の数値がマイナスになることがあります。

(注3) 数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

純資産等

項目	第12期末
	2023年11月15日
純資産総額	665,771,784円
受益権総口数	833,695,574口
1万口当たり基準価額	7,986円

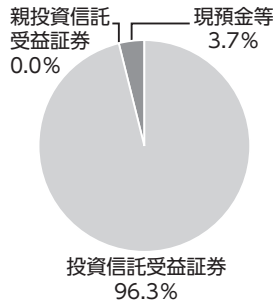
※当期中における追加設定元本額は55,202,805円、同解約元本額は23,582,958円です。

■ Dコース

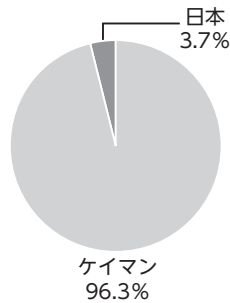
組入(上位)ファンド(2銘柄)

銘柄名	第12期末
	2023年11月15日
MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (円建て為替ヘッジなしクラス)	96.3%
マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド	0.0%
現預金等	3.7%

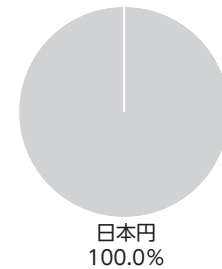
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 計理処理の仕組み上、「現預金等」の数値がマイナスになることがあります。

(注3) 数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

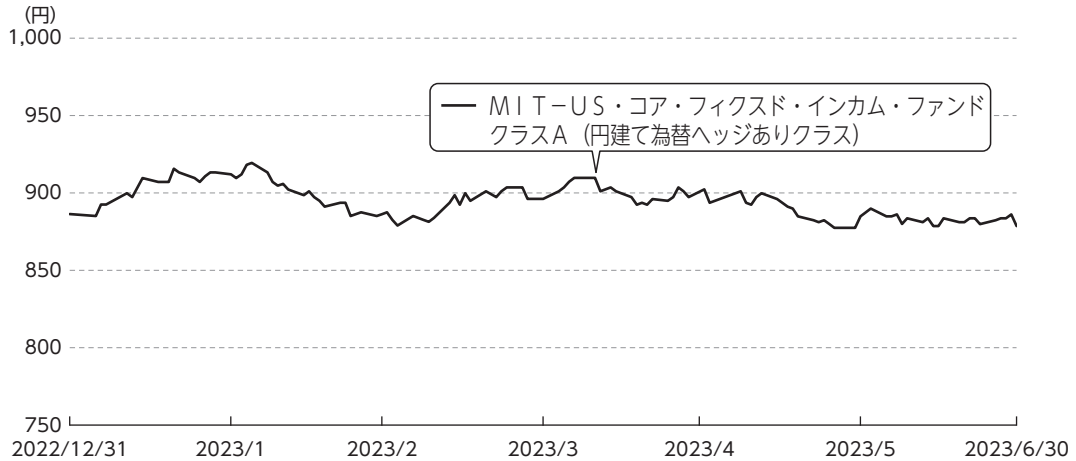
純資産等

項目	第12期末
	2023年11月15日
純資産総額	342,349,110円
受益権総口数	279,265,876口
1万口当たり基準価額	12,259円

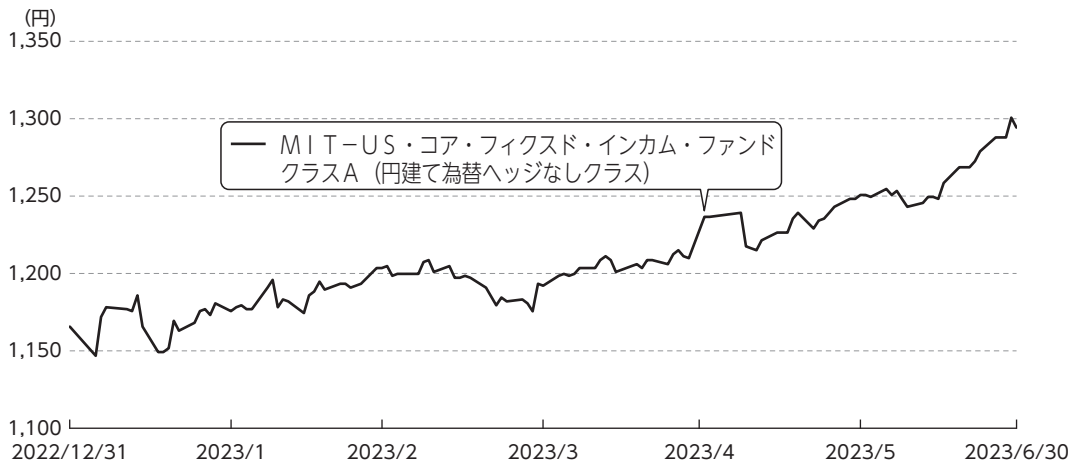
※当期中における追加設定元本額は7,996,193円、同解約元本額は102,364,254円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

■ MIT-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA (2023年1月1日から2023年6月30日まで) 基準価額の推移 (円建て為替ヘッジありクラス)



(円建て為替ヘッジなしクラス)



1万口当たりの費用明細

MIT-U.S.・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスAの Annual Reportには、1万口当たりの費用明細が開示がされていないため、記載できません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数528銘柄)

銘柄名	組入比率
1 米国国債	5.68%
2 米国国債	3.35%
3 米国国債	2.93%
4 米国国債	2.79%
5 米国国債	2.11%
6 米国国債	1.95%
7 ファニーメイ	1.83%
8 ファニーメイ	1.81%
9 ファニーメイ	1.70%
10 米国国債	1.52%

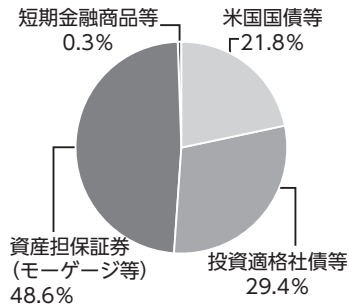
※現地の2023年6月最終営業日のデータです。

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

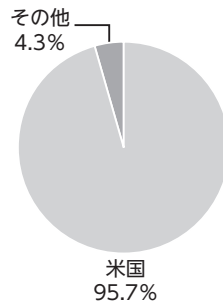
※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。また上記銘柄について将来の組入れを保証するものではありません。

※組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

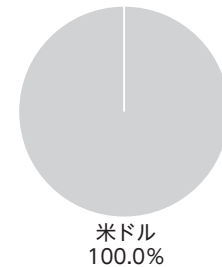
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



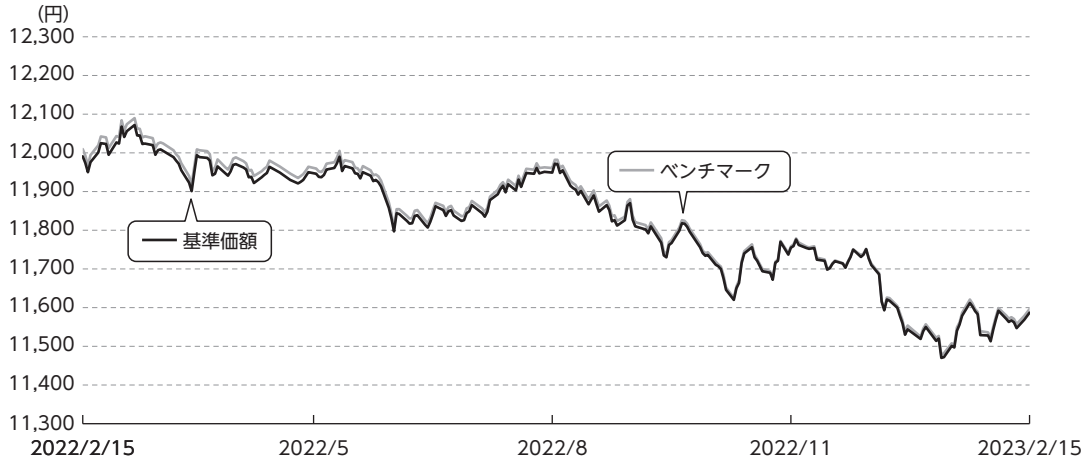
※現地の2023年6月最終営業日のデータです。

※資産別配分および通貨別配分は純資産総額に対する比率です。また、国・地域別配分は純資産総額から現預金等を除いて計算しています。

※各数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

組入上位ファンド（銘柄）の概要

■ マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド（2022年2月16日から2023年2月15日まで） 基準価額等の推移



※当ファンドのベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。当ベンチマークは、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数91銘柄）

	名称	債券種別	比率
1	第358回利付国債（10年）	国債	3.27%
2	第91回利付国債（20年）	国債	3.13%
3	第351回利付国債（10年）	国債	3.09%
4	第148回利付国債（20年）	国債	2.65%
5	第2回利付国債（30年）	国債	2.54%
6	第125回利付国債（20年）	国債	2.53%
7	第29回利付国債（30年）	国債	2.52%
8	第356回利付国債（10年）	国債	2.52%
9	第95回利付国債（20年）	国債	2.43%
10	第339回利付国債（10年）	国債	2.25%

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。また、上記銘柄について将来の組入れを保証するものではありません。

※組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

1万口当たりの費用明細

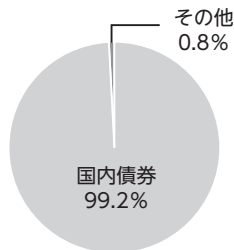
項目	当期		項目の概要
	(2022年2月16日～2023年2月15日)		
	金額	比率	
平均基準価額	11,822円	—	期中の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) その他費用	0円	0.001%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.001	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

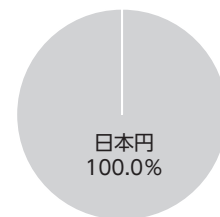
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※組入比率は純資産総額に対する比率です。

※国別配分の国・地域名は、発行国を示しています。

※各数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利はJPXが有しています。なお、本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、JPXは、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCIコクサイ・インデックス

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、世界の新興国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスに用いて行われる事業活動・サービスに一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。